

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	平成3年	問	担当課(室)
大項目	基本目標 02 健康でやさしさあふれるまちづくり	合	職・氏名
中項目	基本施策 02 健やかで生き生きしたまちづくり	先	電話
小項目	施策 06 健康づくり		健康係長・春名美郎
事務事業名	07 ヘルスバ日生管理運営事業		64-1820
		このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	健康づくりに興味をもつ市民及び温浴に来られる来場者
目的(何のために)	市民が健康で明るく生活できるよう、健康づくりの場を提供する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	より多くの市民が健康づくりに興味を持ち、健康で明るく生活できる地域の中心的施設のひとつとなる。

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	健康づくり施設管理運営事業	指定管理者(公益財団法人体力づくり指導協会)に対して、市民が健康で明るく生活できるよう、健康づくりの場を提供することを目的として、ヘルスバ日生(温浴施設)の管理運営を委託する。	

事業費等	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
事業費	千円	22,261	22,292	25,655
必要人員	人	0.09人	0.08人	0.14人
事業費	千円	23,130	22,955	26,850
国庫支出金	千円			
受益者負担				
繰入金	千円			
市債				
その他( )				
一般財源	千円	23,130	22,955	26,850
受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
温浴施設利用者数	人	41,682	43,854	41,671
対前年比	%	-	105.2%	95.0%
活動コスト	円	23,130,000	22,955,000	26,850,000
単位当たりコスト	円	555	523	644

事業の成果	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
施設利用者増加率	成果指標名				
	目標値(A)	100.0%	105%	105	105
	実績値(B)	97%	105.2%	95%	到達目標値
	達成率(B/A)	96.90%	100.19%	0.90%	105

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  B
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	平成24年度は、施設利用者が減少している。施設の有効活用をより推進するため、引き続き多くの市民が利用する施設となるよう指定管理者と協議、検討を行う。 利用者の拡大をはかるため、第3土曜日に通常料金の200円引とする特別料金設定を行っている。 また、本年度においては、過装置の更新を行う。

総合評価
運営経費が年間22,000千円(H24年度-H26年度)必要とする温浴施設であり、市民ニーズにより継続運営されている。 施設の継続的運営をしていくためには、より多くの市内地域(市民、市内企業)の方に利用される施設(健康づくり推進の場)として運営していく必要がある。 また、平成3年度の建設施設であり、老朽化が進んでいるため今後大規模改修が必要となる可能性があり、そうなった場合の本事業の方向性を予め検討する必要がある。 平成24年度では、男性ミストサウナ改修及び、業務用洗濯機の更新を行った。
総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C

平成26年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	施設の有効活用をより推進するため、多くの市民が利用する施設となるよう指定管理者と協議、検討を行う。 また、施設の老朽化による修繕、改修工事が必要となってきており、今後の方向性について検討する。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

Plan

Do

Check

Action